

令和元年度 決算公告

東京都品川区北品川6-7-29 ガーデンシティ品川御殿山

Chubb少額短期保険株式会社

代表取締役 篠原 俊裕

令和元年度 (令和2年3月31日現在) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	825,299	保険契約準備金	242,765
有形固定資産	1,730	支払備金	25,197
リース資産	1,104	責任準備金	217,567
その他の有形固定資産	626	代理店借	79,704
代理店貸	7,233	再保険借	288,696
再保険貸	246,204	その他負債	93,849
その他資産	71,212	未払法人税等	7,521
未収金	59,238	未払金	10
前払費用	2,228	未払費用	37,935
預託金	9,745	預り金	919
繰延税金資産	17,197	リース債務	1,247
供託金	18,000	仮受金	43,235
		その他の負債	2,979
		退職給付引当金	31,381
		負債の部 合計	736,397
		(純資産の部)	
		資本金	155,000
		資本剰余金	75,000
		資本準備金	75,000
		利益剰余金	220,480
		その他利益剰余金	220,480
		繰越利益剰余金	220,480
		株主資本合計	450,480
		純資産の部 合計	450,480
資産の部 合計	1,186,878	負債及び純資産の部 合計	1,186,878

貸借対照表（令和元年度）の注記

- 有形固定資産の減価償却の方法は定率法により行なっております。
- 資産に係る引当金は、当社の定める資産査定基準及び資産査定運営要領、並びに引当・償却処理基準に則り、個別資産毎に回収可能性又は価値の毀損状態を査定し、回収可能性に重大な懸念があると判断した金額又は重大な価値の毀損が生じていると判断した金額を計上しております。
また、上記以外の債権については過去の一定期間における貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に計上しております。全ての債権は、資産査定及び資産査定基準運営要領並びに引当・償却処理基準に基づき、管轄部署が資産査定及び引当・償却を実施し、当該部署から独立した内部監査部が査定結果及び引当・償却状況を監査しております。
- 従業員の退職給付に備えるため、退職給付債務の見込額（簡便法による自己都合要支給額）に基づき退職給付引当金を計上しております。
- 賞与引当金は、従業員の賞与に充てるため、支給見込額を基準に計上しております。
- 消費税の会計処理は税込方式によっております。
- 所有権移転外ファイナンス・リース取引にかかるリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- 無形固定資産に計上している自社利用のソフトウェアの減価償却の方法は、利用可能期間5年に基づく定額法により行っております。
- ① 金融商品の状況に関する事項
少額短期保険業者の運用資産は、預貯金（外貨建を除く）・国債・地方債等に限定されており、当社では安全性・流動性の確保のため預貯金による運用を基本方針としております。
また、資産の自己査定を通じて資産の健全性維持に努めております。
② 金融商品の時価等に関する事項
令和2年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表上計上額（*）	時価（*）	差額
現金及び預貯金	825,299	825,299	-
代理店貸	7,233	7,233	-
再保険貸	246,204	246,204	-
未収金	59,238	59,238	-
代理店借	(79,704)	(79,704)	-
再保険借	(288,696)	(288,696)	-

* 負債に計上されているものについては、（）で示しております。

（注）金融商品の時価の算定方法

当社が保有する金融商品のうち、重要性があるものは、上記表のとおりであります。これらは全て短期間で決済されることから、時価は帳簿価額に近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。

- 有形固定資産の減価償却累計額は、4,222千円であります。
- 関係会社に対する金銭債権総額は255,949千円、金銭債務総額は297,074千円であります。
- 繰延税金資産の総額は17,197千円、繰延税金負債はありません。繰延税金資産から評価性引当2,277千円を控除した17,197千円を繰延税金資産として計上しております。なお、繰延税金資産の主な発生原因別の内訳は、退職給付引当金31,381千円、減価償却超過額12,624千円、異常危険準備金9,257千円であります。
- 支払備金は、当期末において既に発生した又は発生したと認められる損害につき、将来保険契約に基づきてん補するに必要と認められる金額を保険業法第117条及び同272条18、並びに同施行規則第211条47に基づき計上しております。
- 責任準備金は、将来発生する可能性のある損害及び異常災害損失のてん補による支払に充てる等保険契約上に基づく責任遂行のため、保険業法第116条1項及び3項、同第272条18、並びに同施行規則第211条46に基づき計上しております。
- 当期末における支払備金および責任準備金の内訳は次のとおりであります。
 - 支払備金

支払備金（出再支払備金控除前）	132,170千円
同上にかかる出再支払備金	92,792千円
差引	25,197千円
 - 責任準備金

普通責任準備金（出再責任準備金控除前）	1,308,856千円
同上にかかる出再責任準備金	1,139,027千円
差引（イ）	169,828千円
異常危険準備金（ロ）	47,738千円
計（イ+ロ）	217,567千円
- 一株当たり純資産額は97,930円55銭であります。
算定上の基礎である純資産の部の合計額は450,480千円、普通株主に係る期末の純資産額は450,480千円、普通株主に帰属しない純資産はありません。一株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通発行済株式総数は4千6百株であります。
なお、純資産の部の合計額から控除する金額はありません。
- 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

令和元年度 (平成 31 年 4 月 1 日から 令和 2 年 3 月 31 日まで) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	2,399,714
保険料等収入	2,395,406
保険料	1,338,127
再保険収入	1,057,279
回収再保険金	182,050
再保険手数料	814,969
再保険返戻金	60,259
資産運用収益	43
利息及び配当金等収入	43
その他経常収益	4,263
経常費用	2,367,763
保険金等支払金	1,440,834
保険金等	205,848
解約返戻金等	68,337
再保険料	1,166,647
責任準備金等繰入額	2,918
支払備金繰入額	1,871
責任準備金繰入額	1,046
事業費	923,891
営業費及び一般管理費	900,136
税金	14,040
減価償却費	1,941
退職給付引当金繰入額	7,772
その他経常費用	120
経常利益	31,950
税引前当期純利益	31,950
法人税及び住民税	13,043
法人税等調整額	△ 3,311
法人税等合計	9,731
当期純利益	22,218

損益計算書（令和元年度）の注記

1. 関係会社との取引による収益総額は1,057,279千円であり、費用総額は1,215,097千円であります。

2. (1) 正味収入保険料の内訳は以下の通りであります。

保険料	1,338,127千円
再保険返戻金	60,259千円
小計（イ）	1,398,386千円
再保険料	1,166,647千円
解約返戻金等	68,337千円
小計（ロ）	1,234,985千円
差引（イ-ロ）	163,401千円

(2) 正味支払保険金の内訳は以下の通りであります。

保険金等	205,848千円
回収再保険金	182,050千円
差引	23,798千円

(3) 支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は以下の通りであります。

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	10,146千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	8,274千円
差引	1,871千円

(4) 責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は以下の通りであります。

責任準備金繰入額（出再責任準備金控除前）	△29,377千円
同上にかかる出再責任準備金繰入額	△26,374千円
差引（イ）	△3,002千円
異常危険準備金（ロ）	4,049千円
計（イ+ロ）	1,046千円

(5) 利息及び配当金収入の内訳は以下の通りであります。

預貯金利息	43千円
計	43千円

3. 一株当りの当期純利益は4,830円7銭であります。算定上の基礎である当期純利益は22,218千円、普通株式に係る当期純利益は22,218千円、普通株式の期中平均株式数は4千6百株であります。

4. 関連当事者との重要な取引は下記の通りです。

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高	
親会社	Chubb損害保険株式会社	(被所有) 100%	再保険取引	再保険料	1,166,647	再保険借	288,696	
				再保険返戻金	60,259			
				再保険手数料	814,969			
				回収再保険金	182,050	再保険貸		246,204
				敷金の立替		預託金		9,745
			業務管理及びシステム保守	システム関連費 出向者給与負担	652 47,798	未払費用	10,681	
	諸経費の立替	諸経費の立替	46,649					

(取引条件及び取引条件の決定方針)

価格その他の取引条件は、再保険市場実勢を勘案して当社が希望条件を提示し、交渉の上で決定しております。

6. 金額は単位未満を切り捨てて表示しております。